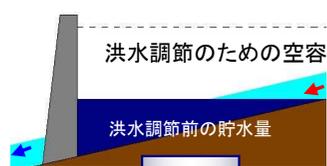


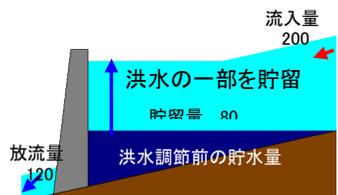
# 山瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

## ダムの洪水調節機能(イメージ)

平常時

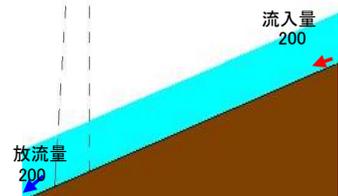


洪水時



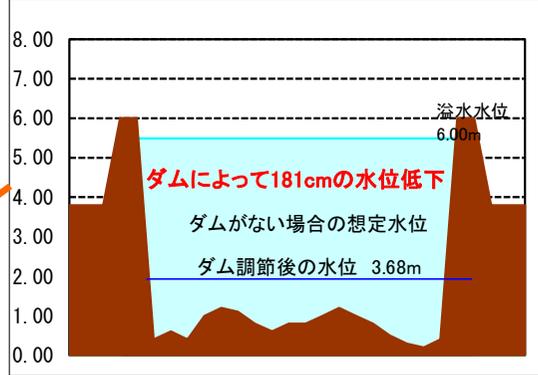
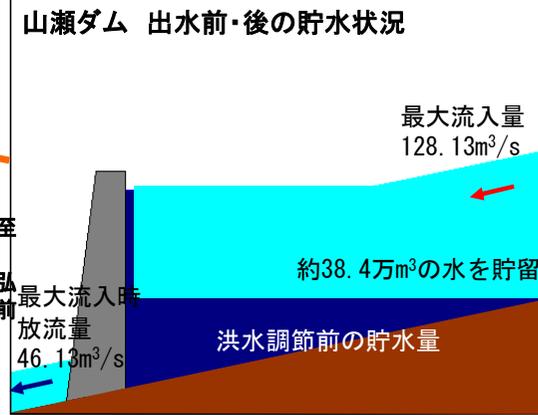
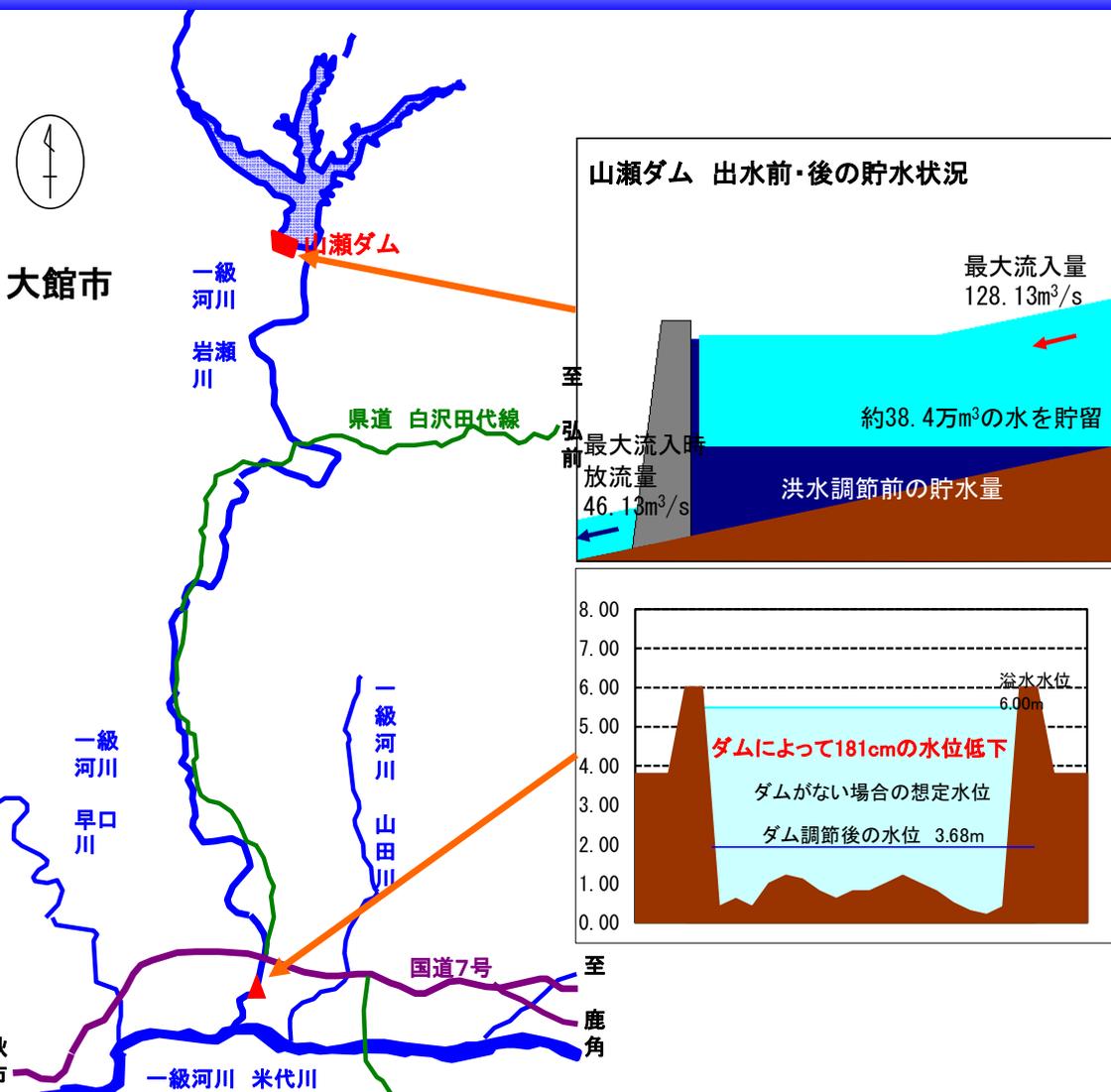
洪水時に、例えば200流れる水のうち80をダムに貯めダム下流には120だけ流します。

ダムがない場合



流れている200の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は60%になり、洪水被害を軽減します。



山瀬ダムでは、7月25日の梅雨前線による出水のため洪水調節を行いました。7月25日から降り始めた雨は、最大時間雨量33mm、累計雨量は112mmとなり、最大流入量は128.13m<sup>3</sup>/sまで上昇しました。洪水調節量として38.4万m<sup>3</sup>の水を貯留し、岩瀬川田代大橋水位観測局地点の河川水位を181cm下げました。

# 山瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

別紙

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

## 概要

山瀬ダムでは、7月25日の前線（低気圧）による出水のため洪水調節を行いました。7月25日から降り始めた雨は、最大時間雨量33mm、累計雨量は112mmとなり、最大流入量は128.13m<sup>3</sup>/sまで上昇しました。洪水調節量として約38.4万m<sup>3</sup>の水を貯留し、岩瀬川田代大橋水位観測局地点の河川水位を181cm下げました。

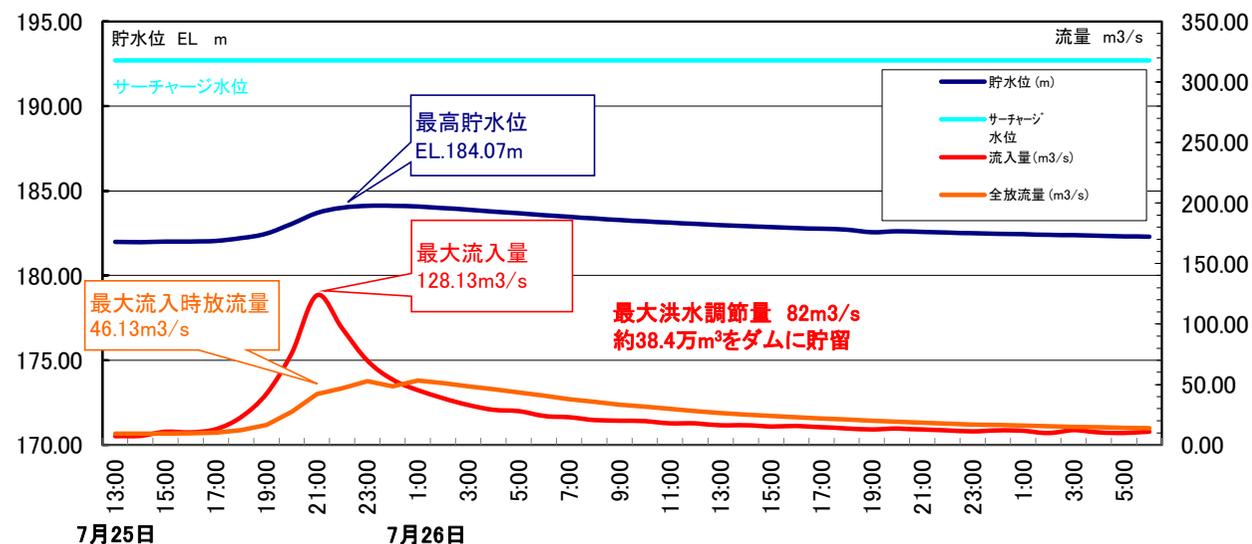
## 降雨の状況（山瀬ダム流域平均雨量）



気象レーダー（7月25日 20:30）



## 山瀬ダム 洪水調節の状況



## 山瀬ダム諸元

河川名	米代川水系 岩瀬川
形式	中央コア型ロックフィルダム
堤高	62.0m
堤長	380.0m
堤体積	1,625千m <sup>3</sup>
集水面積	67.2km <sup>2</sup>
湛水面積	0.94km <sup>2</sup>
有効貯水量	10,900千m <sup>3</sup>
サーチャージ水位	EL.192.70m
竣工年度	平成3年